





	<p>く今日である」には、どのような思いが込められているか、説明する。</p> <p>3 第四連「今日を愛すること／ひとつの短かい歌が死に／今日が小さな喪に捧げられるまで」とはどういうことだろうか、話し合う。 〔わたしを束ねないで〕</p> <p>1 「わたし」は各連でそれぞれどのようなものにたとえられているか。また、それらからどのような意味やイメージを受け取ることができるか。まとめる。</p> <p>2 「束ねないで」「止めないで」「注がないで」「名付けないで」「区切らないで」という表現には、それぞれどのような思いが込められているか、話し合う。 〔帰途〕</p> <p>1 「言葉のない世界」とはどのようなものか、次の詩句に着目して説明する。 ・あなたが美しい言葉に復讐されても／そいつはぼくとは無関係だ</p> <p>2 次の詩句からどのような意味やイメージを受け取ることができるか、まとめる。 ①沈黙の舌からおちてくる痛苦 ②果実の核ほどの意味 ③この世界の夕暮れの／ふるえるような夕焼けのひびき</p> <p>3 「言葉なんかおぼえるんじゃないかった」という詩句に込められた「ぼく」の思いについて、最後の二行に着目して話し合う。 〔各教材〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの詩のリズム・言葉の響き・内容に注意して読み方を工夫し、朗読する。</li> <li>・印象に残った詩を一編選んで、四〇〇字程度で感想を書く。</li> </ul> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>		<p>方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。( (3)イ)</p> <p>&lt;思・判・表&gt; ①文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(読ア) ②他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。(読ウ)</p> <p>&lt;主&gt; ・進んで文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深め、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。</p>		6
定期考査					1
<p>2 学 期</p> <p>ひよこの眼</p> <p>●回想形式に留意して、小説の内容を理解する</p> <p>ありときりぎりす 〔参考〕セミとアリ</p> <p>●翻案小説の魅力について考える</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「私」と「幹生」の関係はどのように変化していくか、次の二点からまとめる。 ①「私」の「幹生」への気持ち ②「幹生」の「私」への態度</p> <p>2 「私が、幹生の瞳に出会った時、私の記憶を疼かせたのは、あのひよこの目だったのだ」(78上・14)とあるが、どういうことか。説明する。</p> <p>3 「でも、私に、いったい、何があげられるのだろう。ひよこは、とうの昔に死んでしまったのだ」(79上・5)とあるが、この時「私」を捉えていたのはどのような感情か、説明する。</p> <p>4 「ひよこの眼」とは何か、話し合う。</p> <p>5 「ひよこの眼」は、現在の「私」が過去の「私」を振り返って語る回想形式の小説であるが、回想といっても、物語内のすべてのできごとが「過去を振り返る」という形で語られているわけではない。どのような語り方がなされているかを調べ、その効果について話し合う。</p> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「ありときりぎりす」と「セミ</p>		<p>&lt;知・技&gt; ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。( (1)ア) ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。( (3)ア)</p> <p>&lt;思・判・表&gt; ①文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(読ア) ②文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。(読エ)</p> <p>&lt;主&gt; ・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ解釈の多様性について考察しようとしている。</p>		8



	てどう思うか、これまでの読書体験を振り返って、話し合う。		自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ) <主> ・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。				
お砂糖とスパイスと爆発的な何か ●批評について理解を深める	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者の考える「批評の仕事」(194・10)とはどのようなものか、説明してみよう。 2 「私が考える一番わかりやすそうな批評のやり方」(195・14)とは何か、整理する。 3 「気をつけなければいけないのは、『自由な解釈』というのは実は全然自由なんかじゃない」(198・11)とあるが、どういうことか。説明する。 4 「フェミニスト批評」「クィア批評」がもたらす「楽しみ」について、筆者はどのように説明しているか、まとめる。 5 筆者のいう「批評のやり方」(195・14)にならって、文学作品の批評文を書く。		<知・技> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア) ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(3)イ) <思・判・表> ①文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(読ア) ②文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。(読エ) ③作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ) <主> ・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。				6
定期考査							1
							合計
							65

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1・3組：福井妙子）（2・4・6組：木須史彦）（5・7・8組：川北香夏）

使用教科書：（三省堂「論理国語」、よむナビ現代文2、プレミアムカラー国語便覧、辞書アプリ「DONGRI」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語において、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり言葉がもつ価値への認識を深めようとする態度や、読書に親しみ自己を向上させ我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
<p>論理力と思考力（野矢茂樹）</p> <p>○思考力と対比して、論理力とは何かを考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「論理力とは、……にほかならない。」とはどういうことか、筆者の考えを整理する。</li> <li>次の①②の推論は正しいか正しくないか、根拠と結論のつながりに着目して判定する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①彼は愛想が悪い。だから、営業に向かない。</li> <li>②自己管理ができていない人は風邪を引く。逆にいえば、風邪を引くやつは自己管理ができていない。</li> </ul> </li> <li>次の①②の伝わり方の違いを説明する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①Aさんは仕事が早い。しかし、ミスもする。</li> <li>②Aさんは仕事が早い。ただし、ミスもする。</li> </ul> </li> <li>「論理力」と「思考力」の関係はどのようなものか、話し合う。</li> </ul>					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>納得の構造（渡辺雅子）</p> <p>○論理の組み立てと文章構成の関係について理解する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「普段私たちが物事を……いるわけではない。」とはどういうことか、まとめる。</li> <li>「日本とアメリカの……比べてみよう。」とあるが、両者の「作文構造」についてそれぞれまとめる。</li> <li>「日本の起承転結とアメリカのエッセイの顕著な違い」について、筆者の考えをまとめる。</li> <li>「『演繹的』作文」と「『帰納的』作文」とでは、読み手の受け止め方にどのような違いがあるか、話し合う。</li> <li>実際に「『演繹的』作文」と「『帰納的』作文」を書いてみる。</li> </ul>			○	○	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	○	○	○	3

<p>情報の「メタ」化 (外山滋比古)</p> <p>○情報の「メタ化」を理解し、思考を整理する方法を考える。</p> <p>【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</p>	<p>・「同じ新聞でも、……第二次情報である。」とあるが、「第一次情報を第二次情報に変える方法」の具体例を本文からあげ、整理する。</p> <p>・「我々が自分で考えた事柄……が考えられる。」とあるが、「段階的抽象化」を進める具体例を本文からあげ、整理する。</p> <p>・筆者の考える「思考の整理」とはどのようなものか、本文全体をとおしてまとめる。</p> <p>・新聞記事の情報を素材（第一次情報）として取りあげ、より高次の情報（第二次、第三次情報）に整理する。</p>								3	
<p>学びを広げる 中身当てクイズ</p> <p>コラム 「流れ」と「構え」</p> <p>○情報から導いた答えを論理的に説明してみる。</p> <p>【知識及び技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明する。</p>	<p>・「中身当てクイズ」を解いてみる。</p> <p>・手をあげたカップは、どのような情報をもとに答えを導き出したのか、筋道を立てて説明する。</p>	○	○	○	○	○	○	○	2	
<p>定期考査</p>								○	○	1
<p>ぬくみ (鷺田清一)</p> <p>○都市生活における自己と他者の関係について考える。</p> <p>【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりする。</p>	<p>・近代の都市生活が寂しいものである理由を整理する。</p> <p>・「個人はその神経を……社会になっていった。」とあるが、どういふことが説明する。</p> <p>・「現代の都市生活者……疼きとって現象している」とは、どういふことが説明する。</p> <p>・「こうした他者との遮断の認識」とあるが、どういふことが説明する。</p> <p>・「現代生活」における「相互性」、「他者への想像力」の大切さについて具体例を基に話し合う。</p>	○						○	○	3
<p>ネット上の発言の劣化について (内田樹)</p> <p>○情報の階層化が進むなかで「言論の自由」の意味について考える。</p> <p>【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>・「それだけ言論統制が……整っていたとも言える。」とあるが、どういふことが説明する。</p> <p>・「マス言論というのは、……メタ情報』である。」とはどういふことが、筆者の考えをまとめる。</p>									

1  
学  
期

<p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <p>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論証したり討論したりしようとする。</p>	<p>・「情報の階層化」とはどうか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・「『情報』はその自体的な……意味がある。」とは、どういうことか説明する。</p> <p>・「『言論の自由』という原理」について、筆者の考えを説明する。</p> <p>・「『言論の自由』に対する侵害」として筆者が指摘することについて話し合う。</p> <p>・前項の話し合いをふまえ「今のネット上の発言に見る一般的傾向」について考えたことを600字程度にまとめる。</p>								2
<p>マルジャーナの知恵 (岩井克人)</p> <p>○「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <p>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論証したり討論したりしようとする。</p>	<p>・「マルジャーナの知恵」とはどのようなものか、まとめる。</p> <p>・「差異から利潤を創り出す」とは、どのようなことか、次の項目ごとに整理する。</p> <p>①商業資本主義 ②産業資本主義</p> <p>・「高度情報社会、……と呼ばれる事態」とは、どのようなものか説明する。</p> <p>・「情報の商品化」には、どのようなものがあるか、身の回りから具体例をあげ話し合う。</p>								2
<p>学びを広げる 情報社会について考える</p> <p>コラム 遅いインターネット</p> <p>○情報社会を生きるうえで大切なことは何か、考えたことを発表する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表する。</p>	<p>・本単元で学んだことをふまえ、「情報社会」を生きるうえで大切なことは何かについて、考えたことを発表する。</p>	○	○						1

<p>世代間倫理としての環境倫理学 (加藤尚武)</p> <p>○未来世代への責任という観点から環境問題を考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表する。</p>	<p>・「近代的な決定システム……しつづつある。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>・「現代は進歩が……時代なのである。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>・「進歩が退廃である時代に生きている。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>・筆者は、なにが「現在世界の最も中心的な課題である。」と論じているのか、まとめる。</p> <p>・未来世代への責任を果たすため環境問題に取り組んでいる身の回りの例を調べ、発表する。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>				○	○		1
<p>記号を使う動物 (池上嘉彦)</p> <p>○記号としての言語について理解する。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じる。</p>	<p>・「既成の語形と……ずらしてみよう。」とはどういうことか、「焰のつらら」という比喻を使って説明する。</p> <p>・「人間の記号による営み」にはどのような面があるか、本文中の「ブーボー」と「マンマ」の例をもとに説明する。</p> <p>・「一つの言語を……ことでもある」とはどういうことか、日本語のほか英語などの例をあげて説明する。</p> <p>・「人間は確かに……なのである。」とはどういうことか、文章全体をとおして説明する。</p> <p>・身近にある「言語創造」の例を、詩、小説、歌詞などから探して発表する。</p>	○	<p><b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>言葉がつくる女と男</p> <p>○言葉とアイデンティティの関係について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じる。</p>	<p>・「言葉とアイデンティティの関係」において、次の考え方をそれぞれ説明する。 ①本質主義 ②構築主義</p> <p>・「実は『女言葉』や……言語資源なのである。」と筆者が述べている理由を説明する。</p> <p>・「服装や言葉がアイデンティティと結びつく」と筆者が述べている理由をまとめる。</p> <p>・漫画、アニメ、小説、記事、ドラマ、映画などから「集団のカテゴリーと結びついた言葉遣いの情報」の例をあげ、話し合う。</p>	○		○	○	○	3
<p>学びを広げる 言葉の力について考える コラム ツイッター哲学</p> <p>○読み比べをとおして「創造性」という観点から言葉の力について論じる。</p>	<p>・本単元の教材を読み比べ、それぞれの文章が「言葉の創造的な側面」をどのように論じているか500字程度でまとめる。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について理解を深めている。</p>				

2  
学  
期

<p>る。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じる。</p>		○	<p>いて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>				○	○		1
<p>病と科学（柳澤桂子）</p> <p>○「痛み」に着目して医療や化学の限界について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述する。</p>	<p>・病気をめぐる「科学信仰」について整理する。</p> <p>・「科学が万能であるかのような錯覚に陥る」理由をまとめる。</p> <p>・「病人から苦しみを……奪われていく」理由をまとめる。</p> <p>・人間は科学とどのように向き合うべきか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・倫理的問題をはらんでいる科学技術について具体例を調べ話し合う。</p>	○	<p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>動的平衡（福岡伸一）</p> <p>○生命とは「動的平衡」のシステムであるという考え方を理解する。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述する。</p>	<p>・「生命とは何か。」に対するさまざまな回答を、次の観点から整理する。 ①生命への機械論的な理解 ②二十世紀的な見方 ③シェーンハイマーの動的平衡論</p> <p>・シェーンハイマーの研究成果を本文に即してまとめる。</p> <p>・「サステナブルであること」を筆者はどのように捉えているかまとめる。</p> <p>・筆者がシェーンハイマーの業績を「コペルニクス的転回」「二十世紀最大の科学的発見」と述べる理由をまとめる。</p> <p>・筆者は科学・技術とどのように向き合うべきだと考えているかまとめる。</p> <p>・バイオテクノロジーの「現在」について、どのようなものがあるか調べ発表する。</p>	○		○	○	○	3

<p>ゲノム編集とiPS細胞 (山中伸弥)</p> <p>○生命科学の可能性と課題について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じる。</p>	<p>・ゲノム編集技術はどのような点で画期的なのか説明する。</p> <p>・「医学研究の進展……扱う必要がある」のはなぜか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・ゲノム編集の「臨床応用」の具体例についてまとめる。</p> <p>・科学技術とどのように向き合うべきか、筆者の考えをもとに話し合う。</p> <p>・「ゲノム編集」や「iPS細胞」の「よい側面とよくない側面」についてどのような議論がされているのか調べる。</p>	<p>○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>学びを広げる 生命について考える</p> <p>資料 iPS細胞と生命倫理 コラム 倫理の窓から見たiPS細胞</p> <p>○さまざまな観点から生命について調べ、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の考えを論述する。</p>	<p>・本単元で学んだこと、調べたことを整理し、資料を読んで、生命科学や生命倫理について自分の考えを800字程度にまとめる。</p>	<p>○</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の考えを論述している。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>1</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>ミロのヴィーナス (清岡卓行)</p> <p>○ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b> ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見直しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめる。</p>	<p>・この文章は三つの部分に分かれている。それぞれの要旨をまとめ、小見出しを付ける。</p> <p>・次の表現について、それぞれわかりやすく説明する。 ①「部分的な具象の放棄による、ある全体性への偶然の肉薄」 ②「表現における量の変化ではなく、質の変化である」 ③「手というものの、人間存在における象徴的な意味」</p> <p>・「ほかならぬ……奏であるのである。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・次の表現の工夫とその効果について説明する。 ①「そのとき彼女は、その両腕を、……秘密の場所にうまく忘れてきたのであった。」 ②「その雰囲気一度でも引きずり込まれたことがある人間は、……どんなにみごとな二本の腕であるとしても。」 ③「一方にあるのは、おびただしい夢をはらんでいる無であり、もう一方にあるのは、……なんらかの有である。」</p>	<p>○</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b> ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見直しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>3</p>
<p>空白の意味 (原研哉)</p> <p>○芸術作品における「空白」の意味について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p>	<p>・「『空白』あるいは……結びについて。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・「逆説的な……育んできた。」とはどういうことか、筆者の考えを説</p>			



<p>学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	<p>「我々は『市民』に……『市民』になるのだ。」ということは、現代社会においてどのような意味をもつのか話し合う。</p>	○	<p>へたり種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>「である」ことと「する」こと (丸山真男)</p> <p>○「市民社会」における権利と義務について考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	<p>・節ごとに要点をまとめる。</p> <p>・次の部分はどのようなことを言っているか、簡潔に説明する。</p> <p>①アームチェアから……気性の持ち主 ②ある面では……過近代的でもある ③「である」社会のモラルによってセメント化されてきた ④芸術や教養は「果実よりは花」 ⑤政治には……価値などというものはない ⑥ラディカル (根底的) な……結びつくこと</p> <p>・「である」論理・「する」論理とはどういうものか、対になっている例を本文から抜き出し、それぞれ説明する。</p> <p>・身近な問題を取りあげ、「である」論理と「する」論理の観点から、800字程度の文章を書く。</p>	○		○	○	○	3
定期考査				○	○		1

合計  
57



# 府中西高等学校 令和7年度 年間授業計画

教科：(地理歴史) 科目：(世界史探究入門) 対象：(第2学年 1組～4組選択者) 単位数：2単位

教科担当者：足立聖子

使用教科書：新詳世界史探究 (帝国書院)

使用教材：最新世界史図説タペストリー (帝国書院)

	指導内容	科目世界史探究入門の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第14章 環大西洋革命 1 世界で最初の工業化 2 アメリカの独立 3 フランス革命とナポレオン戦争 4 ラテンアメリカの革命	・産業革命と市民革命について、歴史総合の知識を踏まえて復習する ・19世紀イギリスで進められた自由主義改革について知り、考える	・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。 ・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。	4
	5 イギリスの覇権と欧米の国民国家化			
5月	第15章 1 ヨーロッパに広がる国民国家  (中間考査)	・ウィーン体制について理解し、自由主義とナショナリズムが模索されながらも19世紀の価値観となったことを学ぶ	・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。 ・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。	7
6月	1 ヨーロッパに広がる国民国家	・19世紀ヨーロッパ各国の動きについて学び、1848年革命や社会主義思想、国民国家統合について理解する	・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。	6
	2 合衆国の拡大と国家統合	・合衆国の領土拡大と開拓について知り、内戦によって国家の再統合化なされることを理解する		2
7月	(期末考査) 第16章 世界の一体化とアジアの変容 1 イスラーム王朝の解体と変容 2 南・東南アジアの変容 3 東アジア諸国の模索と変容	・19世紀アジアの変容について、歴史総合の知識を復習する	・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。 ・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。	3
9月	第17章 世界の一体化の完成とその影響 1 帝国主義と世界分割	・第2次産業革命と帝国主義による世界の分割について学び理解する	・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。 ・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。	2
	2 アジア知識人による体制改革のころみ	・19世紀後半～20世紀初頭のアジア各地域の改革について理解する		2
10月	第18章 世界大戦の時代 1 第一次世界大戦	・第1次世界大戦とヴェルサイユ・ワシントン体制について理解する		4
	(中間考査)			3
	2 アジアのナショナリズム	・アジア各地の民族運動について学び理解する		2
11月	3 大衆社会の到来とファシズム	・大衆社会の成立とファシズムについて学び理解する	・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。	2
	4 第二次世界大戦	・第二次世界大戦について知り、その惨禍と戦後体制の構築について学ぶ		2
				2
12月	(期末考査)		・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。 ・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。 ・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。	3
				2

	指導内容	科目世界史探究入門の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	第17章 1 冷戦の展開と平和の模索	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦体制と、その経過について学び理解する</li> <li>多極化について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	2
2 月	2 グローバル化する国際経済とその課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦体制の崩壊と、その後の地球的課題について知り理解する</li> </ul>		4
3 月	(学年末考査) 3 情報と科学技術によって結びつく世界 4 地球世界の課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の課題について俯瞰し今後の解決を模索する</li> </ul>		3

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地歴 科目 日本史探究入門

教科：地歴 科目：日本史探究入門 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 1組～8組  
 教科担当者：（a：吉田）（b：吉田）（c：大塚）（組：）（組：）（組：）  
 使用教科書：（日本史探究『詳説 日本史』山川出版）

教科 地歴 の目標：  
**【知識及び技能】**歴史の変化に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解する。  
**【思考力、判断力、表現力等】**歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。  
**【学びに向かう力、人間性等】**よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解できるようにする。

科目 日本史探究入門	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<近代国家の展開> ・第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。	1. 第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦が日本に及ぼした影響について着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に読み取り、理解している。	○	○	○	5
	<近代国家の展開> ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。	2. ワシントン体制	ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成り立ちについて理解している。	○	○	○	6
	中間考査			○	○	○	1
	<近代の産業と生活> ・日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、日本の立場に着目して理解する。 ・義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。 期末考査	1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達	・産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ・国家主義的思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技術を身に付けている。	○	○	○	13
2 学期	<恐慌と第二次世界大戦> ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭	・国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などにかかわる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 ・当時の社会が抱えた矛盾と満州事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	6
	<恐慌と第二次世界大戦> 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識させる。 中間考査	3. 第二次世界大戦	日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○	5
	<占領下の日本> ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。 期末考査	1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	・戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較し、その結果を根拠を明確にして表現している。	○	○	○	13
	中間考査			○	○	○	1
3 学期	<高度成長の時代> ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・消費革命による社会の変貌と、経済成長をもたらしたはずみである社会問題について理解する。	1. 55年体制 2. 経済復興から高度経済成長へ	・日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安条約・LT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題など外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。	○	○	○	12
	<激動する正解と日本> ・ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況に	1. 経済大国への道 2. 冷戦の終結と日本社会の変容	・ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて	○	○	○	5

<p>ついて、多面的・多角的にとらえる。</p>		<p>経済大国となったことを理解している。 ・国連平和維持活動への対応や経済不況に対</p>				
<p>学年末考査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>1 合計 70</p>

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1～4,6組：宮原 俊夫）

（5,7～8組：本城 恵太）

使用教科書：（公共704 公共 実教出版）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解できるようにする。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。	社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	1. 生涯における青年期の意義 2. 自己形成の課題（1） 3. 自己形成の課題（2） 4. 職業生活と社会参加 5. 伝統・文化と私たち	・自らの体験などを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。	○	○	○	4
	第2章 人間としてよく生きる	1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であり、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	○	○	○	4
	第3章 他者とともに生きる	1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして	・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	2
	第4章 民主社会の倫理	1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	2
	第5章 民主国家における基本原理	1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	6
2 学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権の広がりや公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題	・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調整、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解させる。・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。	○	○	○	8
	第2章 日本の政治機構と政治参加	1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加	・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調整、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を整えて合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。	○	○	○	6
	第1章 現代の経済社会	1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉	・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解明に向けて主体的に	○	○	○	9

		8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税	論議を深めるために各分野から、その分野の専門家や実務者に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。				
3 学 期	第2章 日本経済の特質と国民生活	1. 戦後日本経済の成長と課題 2. 転機に立つ日本経済 3. 経済社会の変化と中小企業 4. 農業と食料問題 5. 消費者問題 6. 公害の防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. 今日の労働問題	・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。	○	○	○	9
	第1章 国際政治の動向と課題	1. 国際社会と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. こんにちの国際政治 4. 人種・民族問題 5. 軍拡競争から軍縮へ 6. 国際平和と日本の役割	・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。	○	○	○	5
	第2章 国際経済の動向と課題	1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 地域的経済統合の進展 5. 国際経済のつながりと課題 6. 発展途上国の諸課題と日本の役割	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会における相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。	○	○	○	4

# 府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地歴 科目 地理総合

教科：地歴 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（新地理総合 帝国書院）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 地理や歴史の変化に関わる諸事象について、相互的な視野から捉え、総合的に社会を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 地理・歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や位置関係、現在とのつながりなどに着目しつづ、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解できるようにする。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。
○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して適応される日本国

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	《私たちが暮らす世界》 ○地軸の傾きや自転・公転による影響を理解させる。 ○地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考えさせる。	・緯度・経度 ・地球儀と世界地図 ・日本の位置と領域	・緯度・経度について理解している。 ・地球儀と平面の地図の特徴とその差異を理解している。 ・日本の位置と領域について理解している。	○	○	○	5
	《地図や地理情報システムの役割》 ○多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考えさせる。 ○地形図から読み取れることについて理解させる。 ○地理院地図の特徴を理解し、紙の地形図との違いについて考察させる。	・地図の種類 ・地形図のルール	・様々な地図の種類とその特徴を理解している。 ・地形図を適切に読み取ることができる。	○	○	○	10
	《地図や地理情報システムの役割》 ○主題図にはさまざまな表現方法があることを理解させる。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けのかを考察させる。	・主題図の種類と読み取り	・主題図の様々な表現方法と、その特徴を理解している。 ・用途に合わせて、主題図を選択・作成できる。	○	○	○	10
	《地図や地理情報システムの役割》 ○地理情報システム（GIS）が幅広い分野で使われていることについて理解させる。 ○GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考えさせる。	・地理情報システムと地図	・GISの特徴とその仕組みを理解できる。 ・GISを用いて、情報を適切かつ効果的に表現できる地図を作成することができる。	○	○	○	10
2 学 期	《生活文化と自然環境①地形》 ○山地・平野・海岸におけるさまざまな暮らしの工夫について理解させる。	・山地の暮らし ・平野の暮らし ・海岸の暮らし	・適切に図版や資料書を読み取りながら、各地で共通してみられる様々な地形の特徴とその成立のメカニズムを理解できる。	○	○	○	10
	《生活文化と自然環境②気候》 ○大気の大循環によって生じる気圧帯について理解させる。 ○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考えさせる。	・多様な気候とその分布	・適切に図版や資料書を読み取りながら、一定の法則性をもって共通してみられる様々な気候の特徴とその成立のメカニズムを理解できる。 ・様々な気候因子に地域差が生じる原因を理解できる。	○	○	○	10
3 学 期	《自然環境と防災》 ○日本列島の地帯構造とプレートの境目の主題図を用いて、日本の地形の特性について考察させる。 ○日本列島の季節ごとの天候の変化の要因について主題図の読み取りを通して考察させる。	・日本の地形の特色 ・日本の気候の特色	・現在暮らしている日本の地形の特徴について理解できる。 ・現在暮らしている日本の気候の特徴について理解できる。 ・日本の自然環境に関する様々な主題図を、適切に読み取ることができる。	○	○	○	5
	《さまざまな自然災害と防災》 ○各種災害の特徴とメカニズムを理解させる。 ○防災・減災へ向けた各地域における取り組みについて、自助・共助・公助の観点から写真資料を用いて考察させる。	・地震災害・津波災害 ・火山の災害と恵み ・気象災害 ・都市と自然災害 ・防災・減殺と復旧・復興	・様々な自然災害の特徴と発生のメカニズムについて理解できる。 ・これまで学習した自然環境の特徴や、災害の教訓を踏まえ、特に、自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきかを考え、意見をまとめることができる。また、それを適切に表現することができる。	○	○	○	10
							合計
							70

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用）教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：相馬 芳紀 井野 由香 重野 剛志 鈴木 巧 古橋 竜哉

使用教科書：（数研出版 新編 数学Ⅱ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、様々な事象を数学的に表現し処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を理論的に考察する力を身に付け、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的論拠に基づいて判断しようとする、また、問題を考察し評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について理論的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現し、表や式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当時数
1 学 期	第1章 数と証明 第1節 式と計算 【知識及び技能】 様々な計算が出来る 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的にとらえ適切に変形できる 【学びに向かう力、人間性等】	・3次式の展開と因数分解 ・多項式の除法 ・分数式	【知識・技能】 正確に整式の処理が出来る 【思考・判断・表現】 問題に必要な式変形を考え、計算できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	12
	第1章 数と証明 第2節 等式・不等式の証明 【知識及び技能】 証明の方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 理論的に考察し、証明する 【学びに向かう力、人間性等】	・等式の証明 ・不等式の証明 ・相加相乗平均	【知識・技能】 正しい方法で証明ができる 【思考・判断・表現】 理論的に考察し、適切に証明ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	3
	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 【知識及び技能】 複素数の四則演算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式の解について判別できる 【学びに向かう力、人間性等】	・複素数の相等 ・複素数の四則演算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係	【知識・技能】 性格に計算ができる 【思考・判断・表現】 判別式を適切に利用することができる 解と係数の関係を利用し、問題が解ける 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 【知識及び技能】 剰余の定理・因数定理 【思考力、判断力、表現力等】 因数定理を利用して高次方程式を解く 【学びに向かう力、人間性等】	・剰余の定理 ・因数定理 ・高次方程式	【知識・技能】 剰余の定理を用いて、余りを求めることができる 【思考・判断・表現】 因数定理を利用して高次方程式を解くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 【知識及び技能】 内分点・外分点、直線・円の方程式 【思考・判断・表現力】 方程式を用いて図形の性質を考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・内分点、外分点 ・直線の方程式 ・点と直線の距離 ・2直線の平行と垂直 ・円の方程式 ・3点を通る円の方程式	【知識・技能】 図形の表す方程式を正しく求めることができる 【思考・判断・表現】 図形の方程式を用いて図形の性質を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	12
	第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域 【知識及び技能】 不等式の表す領域 【思考・判断・表現力】 軌跡の表す方程式 【学びに向かう力、人間性等】	・座標平面上の点の軌跡 ・線分の midpoint の軌跡 ・直線や円を境界線とする領域 ・連立不等式の表す領域	【知識・技能】 不等式の表す領域を理解し、表現できる 【思考・判断・表現】 軌跡の表す方程式を求めることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 【知識及び技能】 三角関数のグラフの特徴、性質 【思考力、判断力、表現力等】 式とグラフの関係について考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・一般角 弧度法 ・三角関数の相互関係 ・三角関数を含む等式 ・三角関数のグラフ ・三角方程式と不等式	【知識・技能】 グラフがかけられる、方程式不等式がとける 【思考・判断・表現】 三角関数の性質を理解し、考察、表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	第4章 三角関数 第2節 加法定理 【知識及び技能】 加法定理 【思考力、判断力、表現力等】	・正弦の加法定理 ・余弦の加法定理 ・正接の加法定理	【知識・技能】 加法定理を用いて、三角関数の値が求められる 【思考・判断・表現】 三角関数を合成する式ができる	○	○	○	5

	加法定理を利用し、三角関数を合成する 【学びに向かう力、人間性等】	・三角関数の合成	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる				
	定期考査			○	○	○	1
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 【知識及び技能】 指数の拡張、指数法則 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数のグラフ、方程式不等式 【学びに向かう力、人間性等】	・累乗根 ・有理数の指数 ・指数関数のグラフ ・指数関数を含む方程式、不等式	【知識・技能】 指数を含む様々な計算ができる。 【思考・判断・表現】 指数関数のグラフを理解している 方程式不等式を解くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	6
	第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数 【知識及び技能】 対数、底の変換公式 【思考力、判断力、表現力等】 対数関数のグラフ、方程式不等式 【学びに向かう力、人間性等】	・対数 ・底の変換公式 ・対数関数のグラフ ・対数関数を含む方程式、不等式	【知識・技能】 対数を含む様々な計算ができる。 【思考・判断・表現】 対数関数のグラフを理解している 方程式不等式を解くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 【知識及び技能】 微分係数、導関数、極大・極小 【思考力、判断力、表現力等】 関数と導関数の関係について考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・微分係数、導関数 ・極大、極小 ・グラフの概形	【知識・技能】 導関数が求められる 【思考・判断・表現】 3次関数のグラフをかくことができる 極大、極小について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	12
	第6章 微分法と積分法 第3節 積分法 【知識及び技能】 不定積分、定積分 【思考力、判断力、表現力等】 定積分を利用して面積を求める 【学びに向かう力、人間性等】	・不定積分 ・定積分 ・面積	【知識・技能】 不定積分、定積分が求められる 【思考・判断・表現】 積分を利用して面積を求めることができる 極大、極小について考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							95





府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学入門

教科：理科 科目：化学入門 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： 化学①（ 1～4組：須藤美枝 ） 化学②（ 5～8組：須藤美枝 ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 高等学校 化学 （第一学習社） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。

科目 化学入門 の目標： 化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	科学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の三態の変化を復習し、その変化に伴う熱の出入りを理解する。</li> <li>物質の沸点・融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。</li> <li>気体の圧力が気体分子の熱運動と密接に関係することを理解する。</li> <li>状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解する。</li> </ul>	物質の三態とその変化 気体分子の熱運動と圧力 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則をそれぞれ理解する。</li> <li>気体の状態方程式を理解する。また、全圧と分圧を学習し、混合気体の平均分子量を理解する。</li> <li>理想気体と実在気体との違いを理解する。</li> </ul>	気体の法則 気体の状態方程式 理想気体と実在気体	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	6
	定期考査						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学結合と結晶の性質について、復習する。</li> <li>金属結晶、イオン結晶、共有結合の結晶、分子結晶の構造について理解する。</li> <li>非晶質について理解する。</li> </ul>	化学結合と結晶の種類 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 共有結合の結晶の構造 分子結晶の構造 非晶質	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>溶解のしくみを理解し、固体および気体の溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。</li> <li>凝固点降下、沸点上昇、浸透圧の定量的な取扱いを理解する。</li> <li>コロイドを理解し、その溶液の性質を理解する。</li> </ul>	溶解と溶液 希薄溶液の性質 コロイド	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	10	
定期考査							
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応におけるエネルギー差が熱の発生や吸収となること、ヘスの法則、結合エネルギーを理解する。</li> <li>電気分解が起こることを、酸化還元反応と関連付けて理解し、反応に関与した物質の変化量が流れた電気量に比例することを理解する。</li> </ul>	化学反応とエンタルピー変化 ヘスの法則 結合エネルギー 化学反応と光 エントロピー 電池 電気分解 電気分解の応用	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	15
	<ul style="list-style-type: none"> <li>反応速度と濃度、温度との関係、触媒の働きとその利用を理解する。</li> <li>可逆反応と不可逆反応、および化学平衡、平衡定数の意味を理解する。</li> <li>化学平衡の移動について、ルシャトリエの原理を中心に理解する。</li> </ul>	反応速度 化学反応の速さと濃度 化学反応の速さと温度 触媒 可逆反応と化学平衡 平衡定数 平衡移動	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	10
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>弱酸・弱塩基、水の電離平衡について理解する。</li> <li>pHについての理解を深め、平衡定数の応用を理解する。</li> <li>塩の性質とその反応について、化学平衡の概念から理解する。</li> <li>緩衝液とその作用、溶解度積を理解する。</li> <li>非金属元素とその化合物について</li> </ul>	電離平衡と電離定数 電離定数とpH 塩の性質と反応 緩衝液と緩衝作用 溶解度積	授業態度 発問評価 提出物 小テスト 定期考査	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>非金属元素とその化合物について</li> </ul>	非金属元素	授業態度				

77)	て、性質や用途を理解する。 ・無機物質の製法について、理解する。 ・1・2族元素とその化合物について、性質や用途を理解する ・両性元素とその化合物について、性質や用途を理解する。	典型金属元素	発問評価 提出物 小テスト 定期考査				10
							合計
							70

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：清水・野口

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	陸上競技 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	50m走 ・タイムの向上を目指し走り方及びスタートダッシュについて練習する。 ハンドボール投げ ・ジャベリングなどを活用し、投げ方及び身体の使い方について学び記録の更新を目指す。 上体起こし、握力、立ち幅跳び、反復横跳び ・調べ学習、レポート提出を行う。	（知識・技能）陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	9
	球技（バレーボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズムカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・50～200m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	（知識・技能）水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
2 学 期	球技（バスケットボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（パス、ドリブル） ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	球技（ラグビー） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・基本動作であるパス/キャッチ/レシーブ/サイドステップの技術の体得 ・チームメイトと協力して動きながらパス等を継続して前進していく。 ・スペースを作り、カットイン、カットアウトなどの戦術に取り組む。	（知識・技能）ラグビーの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができた。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。	○	○	○	9
	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	（知識・技能）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 （思考・判断・表現）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 （態度）スポーツの文化的特性や現代の	○	○	○	6

			ボートの発展について主体的に取り組むことができる。				
3 学 期	陸上競技（長距離走） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようになる。	時間走と約3000mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	（知識・技能）長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 （思考・判断・表現）これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 （態度）自分の役割に主体的に取り組む、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
							合計 67

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：坂本・浅井

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	陸上競技 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	50m走 ・タイムの向上を目指し走り方及びスタートダッシュについて練習する。 ハンドボール投げ ・ジャベリングなどを活用し、投げ方及び身体の使い方について学び記録の更新を目指す。 上体起こし、握力、立ち幅跳び、反復横跳び ・調べ学習、レポート提出を行う。	（知識・技能）陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	9
	球技（バスケットボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（パス、ドリブル） ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズムカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・50～200m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	（知識・技能）水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
2 学 期	球技（バレーボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	球技（ハンドボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（パス、ドリブル） ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）ハンドボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	（知識・技能）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 （思考・判断・表現）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 （態度）スポーツの文化的特性や現代の	○	○	○	6

			ボートの発展について主体的に取り組むことができる。				
3 学 期	陸上競技（長距離走） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようにする。	時間走と約3000mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	（知識・技能）長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 （思考・判断・表現）これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 （態度）自分の役割に主体的に取り組む、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
							合計 67

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 8組

教科担当者： (1, 2, 3, 6組：清水) (4, 5, 7, 8組：浅井)

使用教科書：(現代高等保健体育(大修館書店))

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	3単元 生涯を通じる健康 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であることを理解できるようにする。	01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択	・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。	04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	○	○	○	5
	中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。	07 中高年と健康	・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
2 学 期	労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことを理解できるようにする。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できるようにする。	08 働くことと健康 09 労働災害と健康	・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。	10 健康的な職業生活	・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○	○	2
	4単元 健康を支える環境づくり 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できるようにする。	01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康	・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見	○	○	○	2



府中西 高等学校 令和7年度 (2学年用) 教科

芸術 科目 音楽Ⅱ

教科: 芸術

科目: 音楽Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組~8組

教科担当者: (1~4組: 横井明子 5~8組: 関口奈々)

使用教科書: (「高校生の音楽2」教育芸術社 )

使用教材: ( 自校作成プリント他 )

単元の目標:

- 【知識及び技能】 芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

単元名: ( )

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

実施予定: 4 月 2 週 ~

時	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)								
							1	5	4	8	1	5	4	8	
1時	<p>歌唱</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p> <p>器楽</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>歌唱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発声法</li> <li>読譜</li> <li>表現の工夫</li> <li>①糸 他</li> </ul>	<p>器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奏法の基本</li> <li>読譜</li> <li>表現の工夫</li> <li>①Ave Maria 他</li> </ul>	○	○	○	観察	4/15	4/18						
2時				○	○	○	観察	4/22	4/25						
3時				○	○	○	観察	5/13	5/9						
4時				○	○	○	観察	5/27	5/16						
5時				○	○	○	観察	6/3	5/30						
6時				○	○	○	観察	6/10	6/6						
7時				○	○	○	観察	6/17	6/13						
8時				○	○	○	観察	6/24	6/20						
9時				○	○	○	観察	7/8	6/27						
10時				○	○	○	観察	7/4							
11時	○	○	○	観察	7/11										
12時	<p>歌唱</p> <p>【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現移動に取り組む。</p> <p>器楽</p> <p>【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>歌唱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発声法</li> <li>読譜</li> <li>表現の工夫</li> <li>アンサンブルの基本</li> </ul>	<p>器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奏法の基本</li> <li>読譜</li> <li>表現の工夫</li> <li>アンサンブルの基本</li> </ul>	○	○	○	観察	9/16	9/5						
1時				○	○	○	観察	9/30	9/12						
2時				○	○	○	観察	10/7	9/19						
3時				○	○	○	観察	10/14	9/26						
4時				○	○	○	観察	10/28	10/3						
5時				○	○	○	観察	11/4	10/10						
6時				○	○	○	観察	11/11	10/24						
7時				○	○	○	観察	11/18	10/31						
8時				○	○	○	観察	11/25	11/7						
9時				○	○	○	観察	12/9	11/14						

1時				○	○	○	息元 発表						
第4 4時3				○	○	○	観察 発表演奏	12/16	11/28				
第4 6時5				○	○	○	観察 意見発表		12/12				
第4 8時7				○	○	○	観察 実技テスト		12/19				
第5 0時9	<p>創作 【知識及び技能】 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p> <p>鑑賞 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わう。</p>	<p>創作 ・旋律づくりの ルールを理解して行う。 ①カノンの和声進行による旋律づくり</p>	<p>鑑賞 ・楽曲の構成を理解して聴く。 ①ボレロ</p>	○	○	○	観察 意見発表	2/10	1/30				
第5 2時1				○	○	○	観察 発表演奏	2/17	2/6				
第5 4時3				○	○	○	観察 意見発表	3/10	2/13				
第5 6時5				○	○	○	観察 発表演奏	3/17	2/20				
第5 8時7				○	○	○	観察 意見発表		2/27				
第6 0時9				○	○	○	観察 発表演奏		3/13				





府中西 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 外国語 科目

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1 組：荻久保）（2 組：平田）（3 組：尾本）（4 組：尾本）（5 組：荻久保）（6 組：平田）（7 組：平田）（8 組：尾本）

使用教科書：（Power On English Communication Ⅱ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】英語の発音や語彙、表現・文法・言語の働きなどの理解を深め、適切に活用する技能をつける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面に応じて適切な方法でコミュニケーションをとることができる。

【学びに向かう力、人間性等】英語の背景にある文化を理解し、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の発音や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	[題材内容] ストリートピアノについてのテレビレポート [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson1 Play me, I'm Yours [言語材料] 助動詞+動詞の原形、受け身、S+V(be動詞以外) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	[題材内容] 現代のファッション業界についてのニュース記事 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson2 Ethical Fashion [言語材料] S+V+O+C(形容詞)、S+V(使役)+O+C(原形不定詞)、S+V(知覚)+O+C(現在分詞、原形不定詞) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	[題材内容] ラグビー選手のリーチマイケル選手へのインタビュー [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson3 One for All, All for One [言語材料] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	[題材内容] 日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson4 Vending Machines [言語材料] 関係代名詞(主格)、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
期末考査			○	○		1	
2 学 期	[題材内容] ユニバーサルデザイン、新紙幣とキャッシュレス化についてのオンライン記事 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson5 Design for Connecting Society: Braille Neue Lesson6 New Banknotes [言語材料] 助動詞+受け身、S+V+C(分詞)、S+V+O(if節)、形式目的語itとthat節等 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	18
	[題材内容] 色が与える影響と心理的効果、小田兼利博士が開発した納豆パウダーの論説文 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson7 Some Secrets about Colors Lesson8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem [言語材料] 関係代名詞(所有格)、同格の接続詞、強調構文等 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	20
3 学 期	[題材内容] アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシーコールマンの伝記 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson9 Flying after Her Dreams [言語材料] 譲歩を表す副詞節、no matter how、仮定法過去完了、分詞構文 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	[題材内容] 日本が誇るロボットやロ	Lesson10 To	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着				

77)	ボットの労働などについての論説文 [言語の働き]説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Work or Not to Work?: Humans and Robots [言語材料]過去完了進行形、be+to不定詞、未来完了形、insistなど+that+S+V(動詞の原形) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)	度を見る。【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	11
							合計
							101



府中西 高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：平田・尾本）（2組：荻久保・尾本）（3組：清水・荻久保）（4組：平田・清水）（5組：清水・荻久保）（6組：平田・尾本）（7組：清水・荻久保）（8組：荻久保・）

使用教科書：（ Vision Quest English Logic & Expression I Standard /Vision Quest English Logic & ExpressionⅡ Hope ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解する。目的や場面、状況に応じて自分の意見や主張などを論理や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】目標や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、話すことや書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとする。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。 ・英語の技能（話すこと・書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	・場面、目的、状況等に応じて、日常的、社会的な話題について、情報や考えなどを英語で的確に理解したり適切に伝えることができる。 ・自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・スポーツをしている時の会話や健康に関する表現を学ぶ。 ・動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を用いた多様な文で伝える。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 8 ①② What sport do you like playing? 〔文法事項〕 動名詞	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・メディアを通じたコミュニケーションや、情報を加えて詳しく表現する方法を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	lesson 9 ① Digital media has come a long way. 〔文法事項〕 分詞	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	・メディアを通じたコミュニケーションや、情報を加えて詳しく表現する方法を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	lesson 9 ① Digital media has come a long way. 〔文法事項〕 分詞	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・異文化紹介における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 10 That's why I decided to go back. 〔文法事項〕 関係詞	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
期末考査			○	○		1	
2 学 期	・国際問題（フェアトレード）における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 11 Which do you prefer cheaper beans or more expensive ones? 〔文法事項〕 比較	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・異文化紹介における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 12 I think it's a good idea. 〔文法事項〕 仮定法	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
3 学 期	・将来の目標や学校生活における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 1 What is your future goal? Lesson2 What school events do you have?	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていことをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・スポーツや情報化時代における表現を	Lesson 3 Who is the best	【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度				

77)	<p>字ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元の重要文法事項についての理解を深める。</li> <li>・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。</li> <li>・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。</li> </ul>	<p>athlete? Lesson4 Is social media safe?</p>	<p>をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。</p>	○	○	○	8	
							合計	66

府中西 高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1～8組 a：池田) (1～8組 b：滝本)

使用教科書： ( 図説 家庭基礎 自立・共生・創造 (実教出版) )

教科 家庭 の目標： 自立する力を身につけ、生涯を見通して生活の中の課題を解決する力を身につけ、よりよい人生を送れるようにする。

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	2
	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法	第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどの	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 5 これからの保育環境	・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	6
	・被服製作実習を通して、手縫いやミシンの使い方の技術を習得する。	第7章 衣生活をつくる 被服実習	・被服の計画・管理・製作に必要な技能を身に付けている。	○	○	○	6
2 学 期		第7章 衣生活をつくる 1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する	・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・被服材料について理解している。 ・被服構成について理解している。 ・被服衛生について理解している。	○	○	○	6
		第6章 食生活をつくる 1食生活の課題について考える 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 7これからの食生活	・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について理解している。 ・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	14
		第8章 住生活をつくる 1住生活の変遷と住居の機能 3これからの住生活	・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 ・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	8
		第9章	・消費者の権利と責任を自覚して行動できる				

3 学 期	<p>経済生活を営む 1情報の収集・比較と意思決定 1購入・支払いのルールと方法</p>	<p>よう消費行動における意思決定について理解している。 ・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	○	○	○	8	
	<p>第4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 3 高齢者の心身の特徴</p>	<p>・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	○	○	○	6	
	<p>第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 5 共に生きる</p>	<p>・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	○	○	○	4	
	<p>第10章 持続可能な生活を営む 1持続可能な社会を目指して</p> <p>第11章 これからの生活を創造する 1生活をデザインする</p>	<p>・生活と環境との関わりについて理解している。 ・持続可能な消費について理解している。 ・持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	6	
						合計	70

府中西 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1 組：吉田）（2 組：相馬）（3 組：小池）（4 組：尾本）（5 組：川北）（6 組：木須）（7 組：町田）（8 組：坂本）  
使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○学年集会において、学校生活、進路に関する話を聞き、理解する。 ○自分のクラスについて理解する。 ○校外学習について理解する。 ○S T A R Tの目標について理解する。	オリエンテーション 各クラスでの交流 校外学習ガイダンス					2
	○今年度の探究活動について理解する	探究ガイダンス					4
	○進路概況、進路活動について理解する。	進路の手引きガイダンス					3
	○選択科目についての説明を聞き、理解する。 ○オープンキャンパスについて理解する	選択科目ガイダンス オープンキャンパスガイダンス					4
2 学期	○探究活動のテーマ設定を行う	探究ガイダンス					5
	○修学旅行の行先について調査・考察を行う	修学旅行事前ガイダンス					5
3 学期	○探究発表を行う	探究ガイダンス					5
	○進路に関して、大学・専門学校の話を聞く	進路ガイダンス					5
							合計
							33